

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	外事事業				事業番号	008-020	
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	国際課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.17		
			有	取組	外国公館・国際機関などの連携強化、ネットワーク構築					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市国際化方針						
3	事業開始年度			平成 3 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 12 年度		
4	実施根拠			—						

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁					
6	事業の対象		海外姉妹・友好都市や歴史的・文化的につながりのある大使館・在関西総領事館・国際機関等、国際交流に興味のある市民・市内企業・大学等、本市国際化を推進する事業に関わる市職員				対象数	単位
							—	—
7	事業の目的		外国人賓客等の接遇や海外に向けた本市のPR、諸外国との経済・観光等さまざまな分野での交流、外国公館や国際機関等との連携強化やネットワークを活用した国際交流の促進等、本市の国際化を推進する。					
8	事業内容		・外国人賓客への接遇及び本市への理解促進 ・海外都市等との交流、都市間連携及び本市PR ・在京大使館・在関西総領事館等に対する本市の魅力発信や連携事業の実施、ネットワークの構築・強化等 ・一般財団法人自治体国際化協会堺市支部の運営 ・JICA等と連携した国際協力の推進 ・大阪・関西万博を契機とした連携事業の実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—					
9	主な支出先		一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）					
10	公民連携・協働事業		—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	外国公館等との連携事業数	件	目標値	15	18	14	14
			実績値	14	21		
			達成率	93%	117%		
当該指標を選定した理由	当該事業の実施数が増加することで、国内外への本市PR及び都市魅力向上等につながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等に対して実施した市内視察やPRイベント等を計上。令和7年度と比較し一部事業終了すると見込み、目標を設定。						
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	外国公館ほか諸外国等に対する本市のPR件数	件	目標値	22	21	36	
			実績値	27	44		
			達成率	123%	210%		
当該指標を選定した理由	当該事業の実施数が増加することで、国内外への本市PR及び都市魅力向上等につながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	外国公館等への訪問等により、本市PRをした回数を計上。過年度の実績等から目標を設定。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		外事事業				事業番号		008-020			
Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費（a）	17,505		12,253		20,668		11,469		
		国支出金	0		0		0		0		
		府支出金	0		0		0		0		
		市債	0		0		0		0		
		その他（基金利子収入、国際文化観光基金、宝くじ収益金）	17,354		11,349		16,797		11,000		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		
14	人件費（b）	15,955		16,990		21,860		21,860			
		15,955		16,990		21,860		21,860			
15	年間経費（c）=(a)+(b)	33,460		29,243		42,528		33,329			
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		(一財)自治体国際化協会分担金	R7	決算	11,000	0	筆耕翻訳料（枠）	R7	決算	0	0
			R8	予算	11,000	0		R8	予算	40	40
		チェコ・イタリア渡航 特別旅費等【拡充】	R7	決算	0	0	その他報償費（枠）	R7	決算	96	96
			R8	予算	4,509	4,509		R8	予算	53	53
		食糧費（枠）	R7	決算	16	16	その他使用料及び賃借料（枠）	R7	決算	1	1
			R8	予算	24	24		R8	予算	100	10
		会場等借上料（枠）	R7	決算	0	0	消耗品費（枠）	R7	決算	41	41
			R8	予算	195	0		R8	予算	19	19
		自動車借上料（枠）	R7	決算	0	0	その他（普通旅費等）	R7	決算	315	315
			R8	予算	66	66		R8	予算	482	405
		Ⅳ. 事業の効率性									
		単位当たり経費									
		17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度		
①	外国公館ほか諸外国等に対する本市PR事業の実施			件	27		44				
②	上記①にかかる年間経費			千円	3,612		2,944				
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	133,778		66,909				
算出についての説明等											
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	・令和7年度は大阪・関西万博の開催に伴い、外国公館に対する本市のPR機会を積極的に創出したため、外国公館等との連携事業数が増加した。 ・在日外国公館等の市長表敬時に博物館や仁徳天皇陵古墳、おおさか堺バルーン等の市内視察を実施し、本市資料を活用したPRを行った。また、JF（国際交流基金）やJICA（国際協力機構）の視察・訪問の受け入れの際に、関係部署と連携した施設見学の調整を行い、本市が有する歴史・文化の魅力を発信した。 ・万博開催年度において、近隣地域への出張が多く旅費を削減できたことから、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たりの経費においては、前年度に比べ49%以上低減し、更に効率的に事業を行うことができた。										
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）										
19	・令和7年度は、在堺チェコ共和国名誉領事館、在大阪・神戸インド総領事館と連携し、「チェコフェスティバル2025in関西」、「インドDAY in 堺」、「インド古典音楽のゆへ リズム・オブ・インディア」、「堺・インド 児童生徒絵画展」等の外国公館等連携事業を実施。市民が諸外国の文化に触れる機会を創出した。 ・大阪・関西万博の開催に関連し、チェコ・ブルノ国立劇場を招聘した公演をフェニーチェ堺で上演したほか、これまでつながりの深いチェコやインドに加え、これまで交流機会の少なかったヨルダンやポルトガルとも連携し、万博バビリオン内で交流事業を実施した。 ・本事業は、外国公館等との連携やネットワーク強化を行うだけでなく、新たな国との関係構築を行うものである。また、外国公館等との連携事業を実施することで、堺の魅力を国内外に発信し、また市民の異文化理解を深め、本市の国際化推進に寄与していると評価できる。										
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）										
20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、コロナ禍の影響を受けながらも外国公館等との連携事業を継続し、ネットワークの維持・強化を図ってきた。令和7年度は大阪・関西万博の開催を契機に、海外バビリオンも含めた外国公館等との連携を更に推進し、連携事業数の増加や新たな国との関係構築につなげており、有効性は高い。堺の魅力を国内外への発信や、市民の異文化理解にも寄与しており、引き続き必要性が認められる。								
	有効性	■ 高い □ 低い									